

入間都市計画事業武蔵藤沢駅周辺土地区画整理事業

# 竣工記念誌



令和4年3月

入間市



入間市長

杉島 理一郎

## 竣工によせて

このたび、長年にわたり進めておりました入間都市計画事業武蔵藤沢駅周辺土地区画整理事業が、めでたく竣工の運びとなりましたことを心からお慶び申し上げます。

当事業は、昭和62年の事業認可から令和3年の換地処分公告までの34年余りの歳月を経て、多くの地権者の皆様や関係各位のご理解とご協力を賜り、ここに完成することができました。

当地区は、駅前広場や道路、公共下水道、公園などの都市施設の整備要望が強くあり、昭和57年には武蔵藤沢駅周辺まちづくり研究会の前身となる藤沢地区まちづくり研究会が発足し、住みよい未来のまちづくりの実現に向けて、土地区画整理事業の立ち上げに多大なるご尽力をいただきました。事業開始からは、武蔵藤沢駅周辺まちづくり研究会、武蔵藤沢駅周辺土地区画整理審議会の皆様をはじめ多くの方々と協働を重ねて事業を進めることができました。

現在では、武蔵藤沢駅前の西口交通広場や藤沢中央通り線などの都市計画道路の整備をはじめ、地域の皆様の憩いの場となる近隣公園や衛生的な公共下水道の整備などにより、良好な住環境を実現することができました。

今後におきましても、生まれ変わった下藤沢が「来てよし、住んでよし、働いてよしのまち・入間」の新しい拠点として更なる魅力あるまちに発展することを祈念しまして、お祝いのご挨拶とさせていただきます。



入間市議会議員

紺野 博哉

## 武蔵藤沢駅周辺土地区画整理事業の竣功を祝して

武蔵藤沢駅周辺土地区画整理事業の竣功にあたり、市議会を代表し、心よりお祝いを申し上げます。

当事業は、武蔵藤沢駅周辺地区に利便性の高い住宅地と商業地を形成するため、昭和62年に事業計画決定され、その後、多くの関係者の皆様のご尽力により事業の竣功を迎えることができました。

特に武蔵藤沢駅周辺まちづくり研究会、武蔵藤沢駅周辺土地区画整理審議会をはじめ、多くの地権者の皆様に事業への多大なるご理解、ご協力をいただいたことに対し、深く感謝と敬意を表する次第であります。

武蔵藤沢駅周辺地区は、事業の進捗とともに良好な市街地が形成され、現在では駅前広場や都市計画道路、公園等が整備された快適な住環境へと生まれ変わりました。また、住宅や商業施設が増えたことにより、駅前にふさわしい街並みが形成されています。

今後、この武蔵藤沢駅周辺地区が入間市を代表する市街地の一つとしてさらに魅力ある街へと発展することで、入間市のさらなる発展につながっていくことを願います。

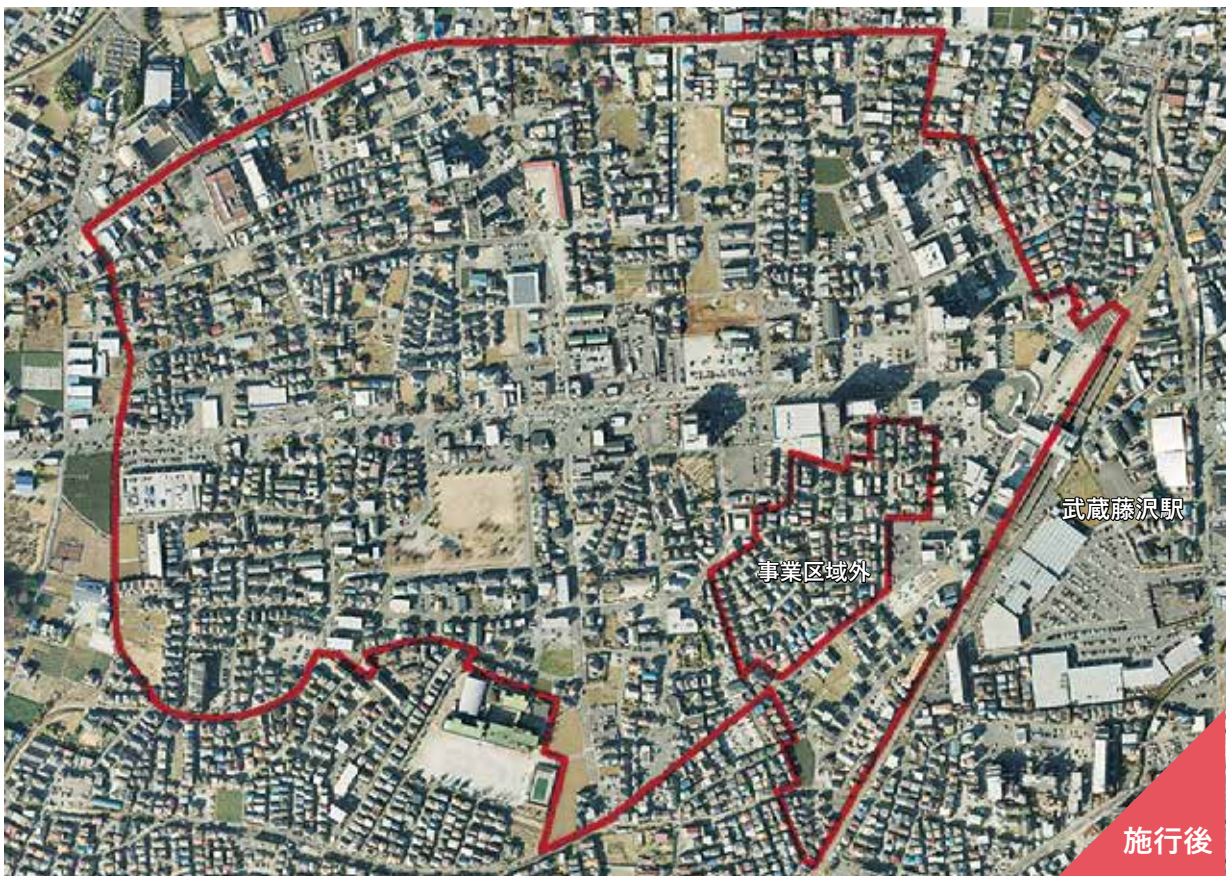
武蔵藤沢駅周辺土地区画整理事業の竣功にあたり、地権者の皆様をはじめとする関係者の皆様に厚く御礼を申し上げ、お祝いのご挨拶とさせていただきます。

## 事業の概要

事業の名称	入間都市計画事業武蔵藤沢駅周辺土地区画整理事業		
施行者名	入間市		
施行地区面積	62.7ha		
施行期間	昭和62年～令和3年		
減歩率	20.66%		
総事業費	201億4,000万円		
都市計画決定	昭和61年7月22日		
公園	近隣公園 1箇所	藤沢中央公園	12,361.92㎡ ①
	児童公園 4箇所	藤沢駅前公園	420.46㎡ ②
		さくら公園	1,247.86㎡ ③
		ふじのみや公園	1,430.89㎡ ④
		藤沢なかよし公園	4123.67㎡ ⑤



藤沢なかよし公園



# 武蔵藤沢駅



昭和40年6月撮影



昭和48年8月撮影



平成17年3月撮影



平成17年3月撮影  
造成中の駅西口ロータリー



平成19年6月撮影  
新駅舎建設中のようす



現在の駅舎

# 街並み



# 公園



藤沢中央公園



ふじのみや公園



藤沢なかよし公園



藤沢駅前公園



さくら公園

# 生まれかわる街



施行後



施行前



施行後



施行前



施行後



施行前



施行後



施行前

## 竣工記念 モニュメント



### 竣工記念碑について

武蔵藤沢駅周辺土地区画整理事業の竣工を記念して、藤沢中央公園内に建立しました。全体のデザインは、入間市の「入」の文字をモチーフとしており、「竣工記念碑」の題字の書は、入間市長によるものです。

発行元／入間市

撮影協力／坂西秀男氏

写真提供／有馬一郎氏

デザイン／株式会社ブラウズ